

◎創部 125 周年（復活創部 70 周年）記念事業についてのお願い

平成 28 年 12 月吉日

弦月艇友会 会長 宮辻 孝治

会員各位

OB・OG各位には、日頃より関学ボート部、現役への絶大なるご支援を賜り衷心より感謝申し上げます。さて我がボート部も、2018年（平成30年）には、創部125周年（復活創部70周年）を迎えます。これもひとえにOB・OGが我が部を支えて頂き、ご指導、ご支援をいただきました賜物であります。明治26年に産声を上げた我がボート部。戦争を挟み、一時は部活動も停止しておりましたが、昭和23年に、当時の学生が、見事に復活をさせて頂き、幾多の困難を乗り越え、今日に至っております。

平成6年には、念願の艇庫を3大学共同で、神崎川に建設していただきました。それから、既に20年以上が経過しております。現在、OB・OGあわせて400人を超える人数になりました。今回2年後に、125周年を迎えるにあたり、今迄の我が部の歴史をもう一度見つめなおし、良き伝統を、継承するべく、記念誌の制作、会員名簿の整理、そして何よりも、現役を強くするための、『援助』を行いたく、ここに、皆さまからのご支援の『寄付金』のお願いを致したく存じます。何卒その主旨をご理解いただき、ご支援の程お願い申し上げます。

125周年記念事業発起人（敬称略）

弦月艇友会会長経験者：塚本 吉宏、小谷 公穂、田中 俊彦、北 雅久
峰 啓一、伊藤 正吾、段野 肇造、西岡 敏之、伊藤 博、角堂 健一、森本 淳一
神谷 和宏、鳥養 真、岸本 信也、永井 良、橋間 加奈、八ッ繁 知義、原 奈津子

125周年記念事業の内容

1、125周年記念誌の制作

前回の復活創部50周年記念誌を制作しており、それを継承します。

2、寄付金のお願い

900万円を予定しております。

3、創部125周年記念式典の開催

平成30年10月頃を予定しております。

寄付金のお願いとその用途

1、寄付金の実施期間 平成29年1月～平成30年8月迄

2、目標金額 900万円（1口1万円以上は上限は設定していません）

同封の振込用紙で関西学院に振込をお願いします。寄付金控除があります。

3、寄付金の使途

現役援助	内訳	新艇の購入	300 万円
560 万円		遠征費用の援助	50 万円
		女子宿舍の援助	80 万円
		艇庫関連備品の購入	30 万円
		新人勧誘費用の援助	50 万円
		コーチングに係る費用	50 万円

125 周年記念にかかる費用

340 万円	内訳	記念誌制作	150 万円
		記念式典	150 万円
		その他	40 万円

現在、会費として、年間 250 万円を皆様からご支援いただいております。これらは、艇庫の『アーム代』・現役遠征援助等々に使わせていただいておりますが、今後は、この会費の徴収率を上げて、安定的な運営が図れるようにしたいと思っております。会計報告、現役活動状況等の資料を同封しております。

今後の戦績目標

平成 29 年～30 年の戦い方と目標

部員も男女あわせて、50 名を超え、男子においては、エイト 2 艇・フォア 1 艇、女子においてはクォドブル 1 艇・シングルスカル 1～2 艇が出漕出来る陣容になってまいりました。スポーツ推薦も、毎年（この 3 年）2～3 名の入部が確保出来ております。（平成 29 年度は、男子 2 名・女子 1 名の入部確定）

男子は、エイトで戦う。これが、当初からの目標であり、体力面でもトレーニングコーチに適切な体力増強が図られつつあります。特に、平成 29 年度の男子エイトは平均身長も 180 cm を超え、体幹的にもこの 10 年でベストな状況です。この条件から、下記の戦績の目標を決めて 2 年間で戦う予定です。

	平成 29 年	平成 30 年
男子エイト	関西制覇	インカレ B ファイナル
男子フォア	関西選手権 3 位以内	関西制覇
女子クォド	関西選手権決勝進出	関西選手権 3 位内

平成 28 年 9 月には、11 年ぶりに、新艇エイトを購入いたしました。（ベスポリ社アメリカ製）山口部長先生の現役への支援・アドバイス、学生課への現役との同行説明等と、ご指導のおかげで、学院から多大な振興資金が援助されました。ここに、ご報告いたします。

最後に、何卒、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。